

ICT 活用 Tips

国語（「古典を心の中に」）

～中学校第1、2学年の既習事項も含めた指導

何を使う

機器 PC またはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

Quizlet、Microsoft Teams（Forms）



それをどう使う（それで何ができる）

- Quizlet（フラッシュカードを使用した学習アプリ）を使用し、導入場面で、個別にクイズ形式の問題を出題し、前時までの振り返りを行わせることができる。
- Forms を使用し、児童生徒個人や学級全体の授業の状況が瞬時に可視化できる。



ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 国語科

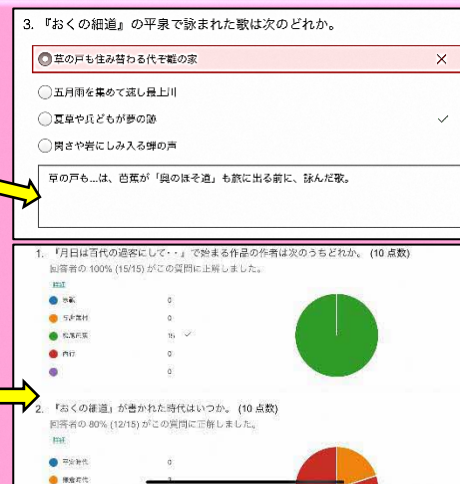
【 Before 】

- プリントを配付し、全員が同一の内容を、同一の時間内で行う。
- 採点業務、成績処理達成度等の分析は教職員の手で行う。



【 After 】 メリット

- 生徒の理解度に合わせた数段階のドリルを活用することで、個に応じた指導を充実させることができる。
- 課題ごと、問題ごとのコメント欄を活用することで、生徒への個別の支援を充実させることができる。
- Formsを使うことで、問題の採点が自動的に行われる。さらに生徒の到達度や誤答の把握・個別の傾向等、学級の理解度や傾向が数値化され、グラフで瞬時に把握できる。
- 紙が節約できる。



機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
		○	○					○	
	1人1台（Quizletは複数名でも可）								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		△
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		ほとんどの教科		
	○	○	○	○	活用が想定される場面		一問一答で確かめられる学習内容の理解度チェック		